

press release

2014年8月8日

(本資料は、ロンドンにて2014年8月6日付で配信したプレスリリースの参考訳です)

スタンダードチャータードPLC 2014年度中間決算 厳しい経済・市場状況を反映し減収減益 今後の成長機会の最大化に向け、様々な業務強化策を展開

2014年度上半期業績ハイライト

- 営業収益¹は、前年上半期比5%減少、92億6,900万米ドルを計上。ただし、同下半期の89億2,000万米ドルからは4%増加
- 税引き前利益¹は32億6,800万米ドル¹で、前年上半期の40億8,800万米ドル¹から20%減少。ただし、同下半期の28億7,000万米ドル¹からは14%増加
- 20市場で営業収益が1億米ドル突破、8市場で営業利益が1億米ドル突破
- 引き続き顧客サポートを強化した結果、貿易金融貸付の平均残高は5%増、キャッシュFX取扱高は24%増、FXオプション取扱高は45%増、顧客向け貸付は3%増
- バランスシートは流動性・多様性・自己資本比率のいずれも高水準を堅持
- 1株当たり配当は28.8米セントに据え置き
- 調整後の株主資本利益率(ROE)は10.4%(前年上半期は13.3%、同下半期は8.9%)

スタンダードチャータード PLC(本社:ロンドン、最高経営責任者:ピーター・サンズ)は、8月6日付で2014年度上半期決算を発表しました。本決算は、中間期業績予想でお知らせしたとおり、厳しいものとなりました。新興国市場の先行き懸念からフィナンシャルマーケッツ事業が影響を受ける一方、韓国では厳しい経営環境が続きました。その結果、当行グループの上半期収益は前年同期比で5%減の92億6,900万米ドル、税引き前利益は20%減の32億6,800万米ドルとなりました。

当行グループは今期、目先の業績向上に必要な施策を講じると共に、アジア・アフリカ・中東地域での長期的成長性を高めるため、新経営戦略を推進してきました。それらの一部による効果は、収益とコストの両面にすでに表れています。

当行グループは、成長とリターンの適正なバランスの維持に常に努めています。そのため、上半期には香港の消費者金融会社プライムクレジット、マイアミ・ジュネーブ・韓国のプライベートバンキング事業などの非コア事業・小規模事業から撤退しました。同様に、リテール事業全体でローリターンハイリスクのクレジットカード・無担保ローンのポートフォリオの解消を行い、さらに90億米ドル相当のリスク加重資産(RWA)をリターンの高い事業・商品に再配分をして資本運用の最適化を実現しました。

¹ 自己クレジット調整(OCA)を除きます。OCAは、当行グループの負債のクレジットリスクを公正価格測定(FVM)ルールによる公正価格ベースで調整したものです。FVMルールは国際財務報告基準(IFRS)第13号に基づく会計基準です。これにより、償却原価法の代わりに公正価格基準によるトレードを選択することが認められています。2013年度上半期の税引き前利益には営業権(のれん代)コストは含まれていません。

フィナンシャルマーケット事業では、市場の構造変化の影響を最も受けた分野から、当行がリレーションバンクとしてその実力を発揮できる顧客主導のフロービジネスへ経営資源を再配分しており、これにより同事業が成長を回復できると確信しています。

韓国では、消費者金融・貯蓄銀行の両事業をJトラストに売却すると同時に、当行グループの同国における企業形態の簡素化に取り組んでいます。現在の行員数は前年同期比で約9%減、支店網は47店舗減となっています。バランスシートのリスク回避、個人向け無担保ローンの契約査定基準の引き締め、代理販売契約の打ち切りも進めています。これらの対応策を反映し、韓国における収益は前年度同期比26%（2億2,900万米ドル）の減少、営業利益は2億6,400万米ドルの減少でした。

当行グループは、強力な顧客リレーションシップの恩恵を引き続き受けており、これを反映して市場シェアを確保しています。顧客の事業拡大・資金需要のサポートを強化したことから、顧客向け貸付は2013年末比で3%増加しました。貿易金融貸付の平均残高は5%増、キャッシュFX取扱高は24%増、FXオプション取扱高は45%増を記録しました。

長期的成長に向けた組織改編

組織改編は、顧客ごとに異なるニーズへの的確に対応し、適切に経営資源を投下することを可能にし、経営の効率化と成長機会のさらなる向上をもたらすと確信しています。組織改編により、すでに各顧客グループ担当部門間の連携強化が進み、収益増をもたらしつつあります。例えば、コマーシャルバンキング部門とリテールクライアント部門の連携により、大口法人顧客向けにサプライチェーン、およびエンployeeバンキング（従業員向け包括的銀行サービス）の提供が可能になりました。さらに、今後の成長に向けた投資能力を拡大するため、当行グループ全体の生産性向上にも力を入れています。投資能力の向上は、より高いリターンが期待できる事業への投資・当行のデジタルバンキングの拡大を可能にします。

20市場で営業収益が1億米ドルを超え、8市場において営業利益が1億米ドルを突破しました。地域別の収益は、アフリカ・香港が前年同期比3%増、中国が15%増となりました。大中華圏（中国・香港・台湾）の収益は、域内とりわけ香港・中国間の連携強化を反映し、5%増加しました。

コスト管理は引き続き徹底しており、上半期の総コストは、規制・コンプライアンス関連コストの著しい増加及び、継続した投資・人件費・その他インフレーションによるコストの増加があったにもかかわらず、前年同期比でわずか1%の増加にとどまりました。

減損費用の総額は10億米ドルを若干超えました。増加分の大半は、中国における一部コモディティの持ち高削減、および戦略的投資とその関連投資に関連した特別減損によるものでした。クレジットコストは前年同期比で16%の増加となりました。リテールクライアント部門が総額の半分以上を占める状況は変わっていません。法人営業部門のクレジットコストは35%の増加となりましたが、これは上述の中国におけるコモディティ持ち高の削減など少数の減損事例を反映したものです。

当行グループのバランスシートは引き続き極めて盤石です。普通株式等 Tier1 比率は 10.7%と、当行に求められている自己資本比率の最低基準を著しく上回っています。銀行資産預金比率、流動資産比率は各々 78.1%と 30.5%となっています。

当行グループは、企業行動基準の強化のための総合プログラムを実行中です。法務・コンプライアンス部門では、金融犯罪対策担当者数の倍増を含む30%の増員を実施し、幅広くかつシニアレベルの専門知識を有する人材を配置しました。具体的には、取締役会レベルの「金融犯罪リスク監視委員会」を設置すると共に、「金融犯罪リスク軽減プログラム」を打ち出し、グループ全体でリスク回避のために取り組んでいます。当行グループは、米国はもとより進出先全体において、過去・現在・将来の制裁及びマネーロンダリング対策、銀行秘密法の順守、顧客を対象とする適正評価の実施状況を関係当局が注視していること、そしてそれが今後も継続されることを認識しています。

当行グループ最高経営責任者であるピーター・サンズは、次のように述べています。

「上半期の業績は明らかに期待に反するものでした。当行グループは、持続的で利益率の高い成長軌道に戻るために、様々な部門において短期的な問題への対応と新経営戦略の実行を同時に進めています。進

出先の市場には莫大な成長機会が存在しています。当行グループは、その盤石なバランスシート、および質の高い顧客ネットワークによって、株主価値の持続的創造を実現できると確信しています。」

まとめと見通し

2014年度上半期、当行グループは、戦略目標に一層適った組織となるための改編を完了しました。その結果、経営資源の適正配分、複数の非戦略的事業からの撤退、コストと資本投入の厳格な管理、優先分野への投資の拡大において進展がありました。

外部環境は1年前より厳しくなり、フィナンシャルマーケット事業の先行きも依然として不透明ですが、トランザクションバンキング事業はビジネスモメンタムを増し、ウェルスマネジメント事業は最近締結したプルデンシャルPLCバンカシュランス業務協定の恩恵を受け、コーポレートファイナンス事業が取り扱う案件は十分な水準で推移しています。

全体として、2014年度通期の特別要因調整後の利益が前年同期比実績を下回るという予測は、現時点では変わりません。ただし、2014年度下半期の調整後利益は、前年同期比実績を上回ると予測しています。

—
詳細につきましては、下記の担当者へご連絡ください。

Shaun Gamble
Senior Manager, External Communications
Standard Chartered Bank
Tel: +44 20 7885 5934
Email: shaun.gamble@sc.com

日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com

スタンダードチャータード

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、香港証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびにインド国立証券取引所に上場し、約86,000名の行員を擁する国際的な金融グループです。世界で最も活気に満ちた市場—アジア・アフリカ・中東地域において150年以上の歴史を誇り、ダイナミックな投資や貿易、そして資産形成を行うお客様を対象に、ビジネスを展開しています。グループの収益の約9割は、それらの地域で創出されています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜に初めて駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で134年目を迎えます。日本の企業法人・金融法人のお客様向けに、多岐にわたる金融サービスを提供し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードグループHP(英語) <http://www.sc.com>
スタンダードチャータードグループ facebook(英語) www.facebook.com/standardchartered
スタンダードチャータードグループ Twitter アカウント @StanChart
スタンダードチャータード銀行在日支店HP(日本語) <http://www.sc.com/jp>
スタンダードチャータード銀行在日支店 HP(英語) <http://www.sc.com/jp/en/>